



竹迫初市
竹迫下町地区に伝わる春の伝統行事です。
今回は雨天のため、ヴェイブル内で3月1日(日)に開催されました。



小・中学校卒業式
3月13日(金)に市内3つの中学校(578名)、3月24日(火)に市内7つの小学校(668名)で卒業式がありました。



国道3号 熊本北バイパス開通式
3月28日(土)に開通式典が開催されました。
昭和48年度に事業化され、今回熊本北バイパス全線延長7.6kmが完成しました。

お知らせ

6月議会は6月12日から開催の予定となっております。
ぜひ、傍聴においでください。
インターネットからでもご覧いただけます。

表紙のはなし

議会だよりが生まれて10年目。
公募で「きずな」という名称となりました。市民の皆さんが名づけ親です。
これまでの表紙で、議会と「きずな」の歩みをたどりました。



議会の動き

(1月~4月)

- [1月]**
9日 議会広報調査特別委員会
20日 議会運営委員会
全員協議会
議会広報調査特別委員会
議会広報調査特別委員会
26日 議会広報調査特別委員会
- [2月]**
13日 京都府向日市より「行政評価のしくみについて」視察研修
17日 議会運営委員会
20日 全員協議会
24日 議会運営委員会
第1回(3月)定例会開会
- [3月]**
2日 議会広報調査特別委員会
11日 全員協議会
16日 第1回(3月)定例会閉会
24日 議会広報調査特別委員会
- [4月]**
1日 議会広報調査特別委員会
10日 議会広報調査特別委員会
15日 議会広報調査特別委員会
19日 合志市議会議員選挙告示
26日 合志市議会議員選挙投票日

平成27年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
6	12	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	18	木	本会議	質疑、委員会付託
	19	金	常任委員会	付託事件の審査
	22	月		
	24	水		
	25	木	本会議	一般質問
	26	金		
	30	火	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。
議会だよりに対するご意見は、合志市議会事務局へ
電話 096-248-1111(代表) 248-2038(直通)
Fax 096-248-2047 メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

子どもの医療費
無料化を中3まで!

今村 直登 議員



子どもの医療費
無料化について

今村 子どもがけがをしたり、急に病気になるったりしたときに、お金の心配なく医療が受けられる助成制度が全国の自治体に広がっている。合志市は現在小6までだが、これを中3まで拡充してほしいという署名が3,000人を超えて提出されている。行政としてこの声にどう応えていく考えか。

子育て支援課長 去年の8月の事務事業検証会でも議論があったが、財政面等を含め27年度に検討を行いたい。

今村 病気やけがを負ったままだと進路や進学という子どもの将来に大きなハンディを背負うことになる。行政はこのような事を防ぐ責任がある。速やかに実現されるよう強く要求する。

地方創生について

今村 安倍首相は、去年の12月の解散総選挙前に「地方創生関連法案」

(まち・ひと・しごと創生法及び地域再生法の一部改正)の国会成立を無理やり押し通した。この地方創生法とはどんなものか。

政策課長 人口減少と地域経済の縮小を克服するために、「東京一極集中の是正」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「地域の特性に即して地域課題を解決する」という視点のもと、活力ある社会の維持を目指していくことであり、本市においても、国の長期ビジョンと総合戦略を基に、合志市版の人口ビジョンと合志市版総合戦略を平成27年度に策定していきます。

今村 人口減少は何が原因と考えるか。

政策課長 地方に働く場が少ない。若者にとっては東京などの大都市が魅力的なものとなっている。子どもを産み、育てる環境が整っていないなど多くの問題、課題が絡み合っている人口の減少という原因となっているものと思われる。

北部農村地域の
振興について

木村 祐一 議員



北部農村地域の振興について

木村 児童減少化する西合志第一小学校への対応や方向性は。
学校教育課長 標準規模学校12、18学級という中では下回っている。

「公立小中学校の統廃合に関する引き案」の中では、対象校になると思うが、統廃合については考えていない。「地域に即した」という部分で検討がされている。

政策部長 第一小学校区では辻久保地区は、重点区域土地利用計画の拠点であり、27年度市街化調整区域の規制緩和が格段に進むと思われる。商業施設と併せた住宅地域の誘導が辻久保でできないかということでも話し合いを行っている。

農地基盤整備の今後について

木村 優良農地の確保として基盤整備は必要不可欠である。農地集積や農地バンクについて、農家のご理解が得られていないのでは。

農業委員会事務局長 「人、農地プラン」の中で、地域の農業委員が主

体となって農地の流動化に取り組まなければならない。農業委員会としても農地情報の発信、さらに関係機関と農地集積の推進に努めていく。

野々島公民館付近の整備について

木村 以前も質問したが、難しい状況かと思うがお尋ねしたい。

政策部長 JA支所と公民館機能と一緒に併せることはできないか、JAと意見調整を図っている。

木村 北部農村地域の振興については、本市北部全域に関する課題であり、今後を見据えた検討をよろしくお願いしたい。

市長 第一小学校区については、人口増を目指す事ができるのではないかとということで、27年度から事業に取り掛かりたい。野々島地区の発展に際しても、率先、誘導して地域の方々のサービス向上につなげてい。

